

産業構造がシフトし、人材マネジメントを取り巻く環境が変化している。企業は、売上高や収益性、安全性の向上に加え、社員の属性や多様な能力もアセットプールとして捉えて、人材アセットを有効活用させながら飛躍に結び付けるビジョンと具体的な行動がますます求められている。

グローバルに展開する企業が、それぞれの国の雇用ルール等に従って人的資本を適切に管理し、人材の可能性に対するステークホルダーの関心にも向き合いながら、どのようにその多様性や強みを活かしたマネジメントを実行していくのか。企業の成長に直結するこの 이슈に対し、今号は様々なプロフェッショナルから寄稿頂いた。国際労務、ISO30414なども含めて、JOIは豊富な企業研修メニューをラインナップしているので、いつでもご相談頂きたい。

常務理事 田丸伸介

海外投融資

Vol.30 No.4 (通巻178号)
2021年7月26日発行

発行
一般財団法人 海外投融資情報財団

発行人
長田 薫
〒102-0073
東京都千代田区九段北二丁目
3番6号 九段北二丁目ビル
TEL. 03-5210-3311 (代)
URL. www.joi.or.jp

制作協力
(株)エディポック

*本誌に掲載されている記事の内容や意見は、海外投融資情報財団の公式見解を示すものではありません。

●禁 無断転載

All rights reserved. No part of this magazine may be reproduced in any form or in any means without written permission from the publisher.
©Japan Institute for Overseas Investment Printed in Japan



九段だより JOI専務理事交替のご挨拶

2021年6月30日を以てJOI専務理事を退任しました。JOI会員の皆様、寄稿・セミナーで協力頂いた方々、JOIの皆さん、3年2カ月間支えて頂き心から感謝します。

新型コロナウイルスは世界の社会・経済をズタズタにしました。日本でもあらゆる予定調和が機能なくなる混乱の中、人によって考え・行動の「違い」が随所で顕著になってきているようにみえます。

しかし価値観がバラバラであることは、かならずしも悪いことではないと思います。環境とエネルギーの問題、DXとプライバシーの問題、人権と社会の効率性の問題。今のグローバルビジネスの課題はいずれも人々の間の利害や価値観の深刻な対立を孕んでいます。その上で思います。「混乱の坩堝から新しい世界は生まれる」と。幕末日本の混乱は、悲劇ももたらしましたが、さまざまな志士が新たなvisionを持って行動し、その後の力強い社会の変革・発展につながりました。今の日本、そして世界はそうした状況に似ていると思います。

JOIが「グローバル事業展開に真に必要な情報の結節点」としてそんな時代を切り拓く皆さんのお役に立っていくことをこれからも切に願っています。

前専務理事 日塔 貴昭

このたび理事会において選任され、2021年7月1日付をもってJOI専務理事に就任いたしました、長田薫（ながたかおる）でございます。

Withコロナ2年目にある私たちは、今後、ポスト・コロナの世界へ向けた、社会・経済のさらなる激変の中に否応なく身を置くこととなります。そして、皆様におかれましては、将来の世界のありようが見通せない不確実性の中、ビジネス・経営上、非常に難しい舵取りを迫られることになるのではないかと考えています。

このようななか、私たちは、「グローバル事業展開に真に必要な情報の結節点」として、皆様のビジネス・経営上の予見可能性を、些かなりとも高めるお手伝いをしてまいりたいと考えております。

未曾有の社会・経済変化の中で、JOIがその役割を果たしていくためには、変化に適應するのはもちろんのこと、さらに先を進み、社会の変化の方向性を見極めつつ皆様に貢献していくことが必要かと考えていますが、これは私たちにとって大きなチャレンジとなります。そうしたチャレンジの中、私個人は、はなはだ微力ではございますが、JOI会員様をはじめとする皆様のため、全力を傾注いたす所存でありますところ、前任者同様に格別のご指導ご支援よろしくお願いいたします。

専務理事 長田 薫